本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

CASIO

# 2329*JA

取扱説明書

2329

このたびは弊社製品をお買い上げくださいまして、誠にありがとうございます。末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。

なお、この取扱説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

時計のお取り扱いで、万一誤ったボタン操作を行なっても、製品に障害を与えることはありません。この時計の特長、機能を十分使いこなしていただくためにもご納得のゆくまでお試しください。

## 安全上のご注意

### 絵表示について

この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

| | |
|---|---|
| ⚠ 危険 | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。 |
| ⚠ 警告 | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。 |
| ⚠ 注意 | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |

### 絵表示の例

△記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています。（左の例は感電注意）

⃠記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています。（左の例は分解禁止）

●記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています。（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）

### ⚠警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。

※本機はダイバーズウオッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。



#### 電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

### ⚠注意

#### かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

①金属・皮革に対するアレルギー
②時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
③体調不良等

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
- 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
- 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

#### お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとサビ易くなります。

#### 分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。



#### ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やケガの予防のため、十分に安全が確認された場所で行なってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

時計が止まった場合は、速やかに電池を交換してください。

時計脱着の際に、中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

思わぬケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。

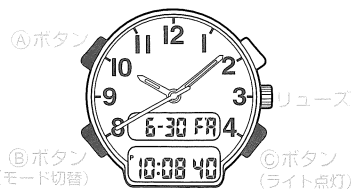
#### オートライト作動時のご使用について

オートライト作動状態のとき、本機を腕につけて自動車などを運転すると、不用意にライトが点灯し、運転の妨げになり危険ですのでおやめください。交通事故の原因となることがあります。

# 操作のしくみと表示の見方

Ⓑ ボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順で表示が切り替わります。

## 時刻・カレンダーモード




★表示の見方

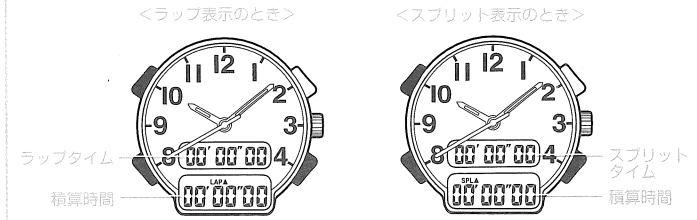



★曜日の見方

| | | | |
|---|---|---|---|
| SU：日 | MO：月 | TU：火 | WE：水 |
| TH：木 | FR：金 | SA：土 | |

## ストップウオッチモード

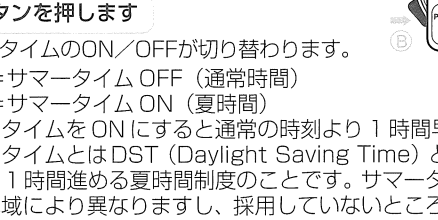
1/100秒単位（1時間以上になると1秒単位）で9時間59分59秒まで計測できます。




※リコールモードで、<ラップ表示>を選んでいるときはラップタイムを、<スプリット表示>を選んでいるときはスプリットタイムを表示します。

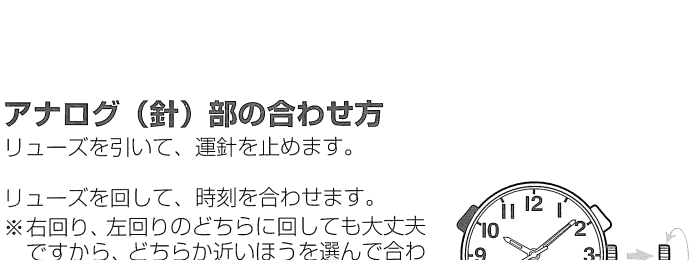
## アラームモード

アラーム時刻・時報セットができます。




## リコールモード

ストップウオッチモードで計測したタイムを見ることができます。




# 時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで時刻やカレンダーが合っていない場合は、以下の方法で合わせてください。

## ■ デジタル時刻・カレンダーの合わせ方

(1) セット状態にする

**時刻・カレンダーモードのとき、Ⓐボタンを約2秒間押します**

➡「秒」が点滅します。




(2) 秒合わせ…30秒以内の遅れ／進みの修正

**時報に合わせてⒸボタンを押します**

➡「00秒」からスタートします。

※秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって「00秒」になります。（時報は「時報サービス117番」が便利です）




(3) サマータイム（DST）*のON／OFFを選ぶ

**Ⓑボタンを押します**

➡"DST"マークと"0"または"1"が点滅します。

**Ⓒボタンを押します**

➡サマータイムのON／OFFが切り替わります。

※"0"＝サマータイムOFF（通常時間）
"1"＝サマータイムON（夏時間）

※サマータイムをONにすると通常の時刻より1時間早まります。

＊サマータイムとはDST（Daylight Saving Time）とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご使用の際には十分ご注意ください。




(4)「時刻・カレンダー」合わせ

a. **Ⓑボタンを押します**

➡Ⓑボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。







b. **Ⓒボタンを押します**

➡Ⓒボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進みます。

※押し続けると早送りします。




a.～b.の操作を繰り返して、「時刻・カレンダー」を合わせます。

※「12／24時間制切替」のときは、Ⓒボタンを押すごとに12時間制表示"12H"と24時間制表示"24H"とが切り替わります。

※「時」のセットのとき午前／午後（P）、または24時間制にご注意ください。

※「年」は2000～2039年の範囲内でセットできます。正しくセットすると、自動的に曜日が算出されます。なお、カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

(5) セットを終わる

**Ⓐボタンを押します**

➡点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

## ■ アナログ（針）部の合わせ方

(1) リューズを引いて、運針を止めます。

(2) リューズを回して、時刻を合わせます。

※右回り、左回りのどちらに回しても大丈夫ですから、どちらか近いほうを選んで合わせると早くセットできます。

(3) デジタル時刻表示の「秒」が秒針の止まっている位置と同じになったときリューズを押し込みます。




# 製品仕様

| | |
|---|---|
| 水晶発振周波数 | 32,768Hz |
| 精度 | 平均月差±30秒以内 |
| 基本機能 | アナログ部… 時・分・秒（3針）<br>デジタル部… 時刻表示＝時・分・秒、午前／午後（P）／24時間制表示（24）<br>カレンダー表示＝月・日・曜日、フルオートカレンダー（2000～2039） |
| ストップウオッチ機能 | 計測単位＝1/100秒（00分00秒00～59分59秒99のとき）<br>1秒（1時間00分00秒～9時間59分59秒のとき）<br>計測範囲＝9時間59分59秒（10時間計）<br>ラップ／スプリット数＝1～99回<br>計測機能＝通常計測、積算計測、ラップ／スプリット計測、ラップ／スプリットタイムメモリー（10本まで） |
| アラーム機能 | 時刻アラーム　セット単位＝分　電子音＝20秒間<br>時報　毎正時に2回電子音で報時 |
| その他 | 自動復帰機能、12/24時間制表示切り替え、サマータイム設定機能、EL（エレクトロルミネッセンス）バックライト、オートライト機能 |
| 主要回路素子 | 音叉型高性能水晶振動子　ワンチップCMOS-LSI |
| 使用電池 | CR-2016（電池別途販売） |
| 電池寿命 | 約3年<br>（1日あたりライト2秒間、電子音を20秒間使用した場合）<br>※ただし、ライト使用条件により、電池寿命が短くなることがあります。<br>• 1日あたりライト5回使用 …… 約2年 |

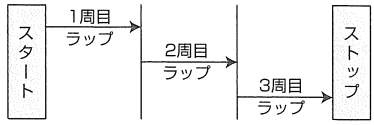
# ストップウオッチの使い方

## ■ 特長

本機のストップウオッチは、1/100秒単位（1時間以上になると1秒単位）で9時間59分59秒（10時間計）まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に0に戻って計測し続けます。
また、ラップ／スプリット計測を行なうとそのときのタイムを最大10本まで記憶し、記憶したタイムはリコールモードで簡単に見ることができます。

### ●ラップタイムとは…

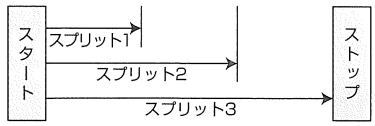
任意の区間（周回競技では1周分）を進むのに要する時間のことです。
例：陸上、モータースポーツなどの周回競技での1周あたりのタイム。




計測範囲…ラップタイム（上段に表示）＝9時間59分59秒（10時間計）
積算時間（下段に表示）＝9時間59分59秒（10時間計）
ラップ数＝1～99回（99を超えると－－表示）

### ●スプリットタイムとは…

スタート地点から任意の地点までの経過時間のことです。
例：マラソンの10Km地点まで走ったときのタイム。




計測範囲…スプリットタイム（上段に表示）＝9時間59分59秒（10時間計）
積算時間（下段に表示）＝9時間59分59秒（10時間計）
スプリット数＝1～99回（99を超えると－－表示）

## ■ ストップウオッチ計測のしかた

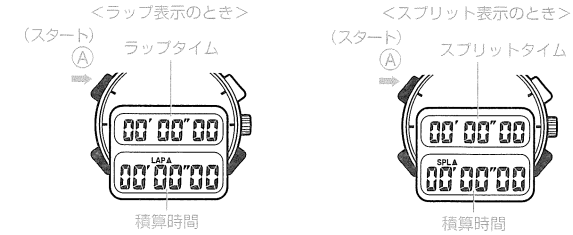
### ★ストップウオッチ計測時の表示について

リコールモードで、＜ラップ表示＞を選んでいるときはラップタイムを、＜スプリット表示＞を選んでいるときはスプリットタイムを表示します。
※リコールモードでの表示切り替えについては右記「●表示を選ぶ」参照。
※どの表示を選んでも、ラップ／スプリット計測値のメモリーは両方行なわれます。

**計測開始**

Ⓐ ボタンを押します

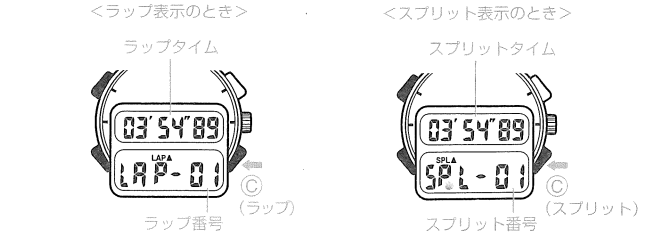
➡ストップウオッチモードのとき、Ⓐボタンを押すと計測がスタートします。




**ラップ／スプリットタイム計測**

Ⓒ ボタンを押します

➡Ⓒボタンを押したときのタイムを7～8秒間表示し、記憶します（内部では計測を続けています）。以後、Ⓒボタンを押すごとにラップ／スプリットタイムを計測・記憶していきます。
※計測値が1時間以上になると、表示単位が「時・分・秒」になり、1秒単位で計測を行ないます。




**計測終了**

Ⓐ ボタンを押します

➡計測がストップし、終了時のラップ／スプリットタイムを記憶します。
※計測値を0に戻すには、計測終了後にⒸボタンを押します。




## ■ 計測時のボタン操作について

### ●通常計測




※積算計測…ロスタイムのある場合は、ストップ後リセットせずにⒶボタンを押して再スタートすれば表示タイムに引き続き計測を始めます。

### ●ラップ／スプリット計測




※計測中にⒷボタンを押してリコールモードに切り替え、メモリーしたタイムを見ることができます。（「■計測したデータを見る」参照）

## ■ ラップ／スプリットタイムのメモリーについて

本機では、ラップ／スプリットタイムを最大10本まで記憶でき、記憶したタイムはリコールモードで見ることができます。
※記憶できるのは、計測開始後9本までのタイムと計測終了時のタイムとなります。10本目から計測終了前までのラップ／スプリットタイムは記憶されません。
※計測値を0に戻してから、新しい計測を始めると、前回記憶したタイムはすべて消去されます。

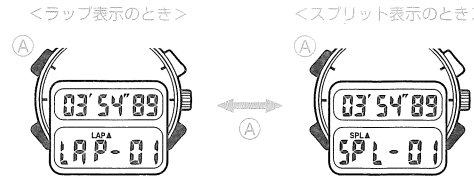
## ■ 計測したデータを見る

準備：時刻・カレンダーモードのとき、Ⓑボタンを2回押してリコールモードにします。

### ●表示を選ぶ

リコールモードのとき、Ⓐ ボタンを押します

➡Ⓐボタンを押すごとに＜ラップ表示＞と＜スプリット表示＞とが切り替わります。
※リコールモードに切り替えた直後は、ラップ番号1またはスプリット番号1のタイムが表示されます。

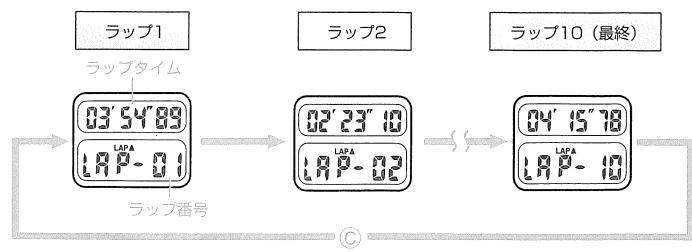



### ●データを見る

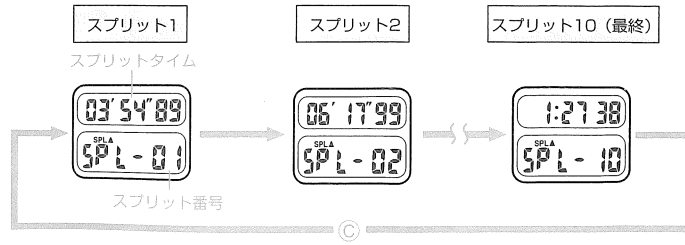
表示を選びましたら、Ⓒ ボタンを押します

➡Ⓒボタンを押すごとに順番にタイムを表示します。
※リコールモードで見ることができるのは、ストップウオッチ計測中にラップ／スプリット計測または計測終了の操作を行なったタイムのみ（最大10本）となります。

＜ラップ表示のとき＞




＜スプリット表示のとき＞



# アラーム・時報の使い方

アラームは分単位でセットでき、セットした時刻になると20秒間の電子音が鳴ります。また、毎正時（00分）に時報を鳴らすこともできます。

※アラーム・時報はデジタル時刻に合わせて鳴ります。

## ■ アラーム時刻のセット

(1) セット状態にする

**アラームモードのとき、Ⓐボタンを約2秒間押します**

➡アラーム時刻の「時」が点滅します。
※このとき、アラームが自動的にONになり、"D)))" マークが点灯します。




(2) セット箇所を選ぶ

**Ⓑ ボタンを押します**

➡Ⓑ ボタンを押すごとに点滅箇所が「時」⇔「分」で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。




(3) 点滅箇所のセット

**Ⓒ ボタンを押します**

➡Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進みます。
※押し続けると早送りします。




(2)～(3)の操作を繰り返して、「アラーム時刻」をセットします。

※「時」のセットのとき午前／午後（P）、または24時間制にご注意ください。
※基本時刻を24時間制にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制で表示されます。

(4) セットを終わる

**Ⓐ ボタンを押します**

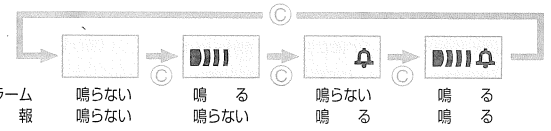
➡点滅が止まり、セット完了です。
※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

## ■ アラーム・時報のON／OFF設定

**アラームモードのとき、Ⓒボタンを押します**

➡Ⓒ ボタンを押すごとに、アラームマーク"D)))"と時報マーク"🔔"が点灯／消灯を繰り返します。それぞれのマークが点灯しているときがONとなり、アラーム・時報が鳴ります。




## ■ 鳴っているアラーム音を止めるには

いずれかのボタンを押します。

## ■ モニターアラーム

どのモードのときでも、Ⓑ ボタンを約2秒間押し続けると、押し続けている間、アラーム音が鳴ります。

# 表示照明用ELバックライトについて

本機の表示部にはELパネル（エレクトロルミネッセンスパネル）が内蔵されており、暗いときに表示を明るくして見ることができます。また、時計を傾けるだけで文字板が発光するオートライト機能もあります。

### ●ボタンを押して発光させる～手動発光～

時刻・カレンダーモードのとき、

**Ⓒ ボタンを押します**

➡文字板にあるELパネルが約2秒間発光します。




※オートライトOFF（"✥"不点灯）のときもⒸボタンを押すと発光します。

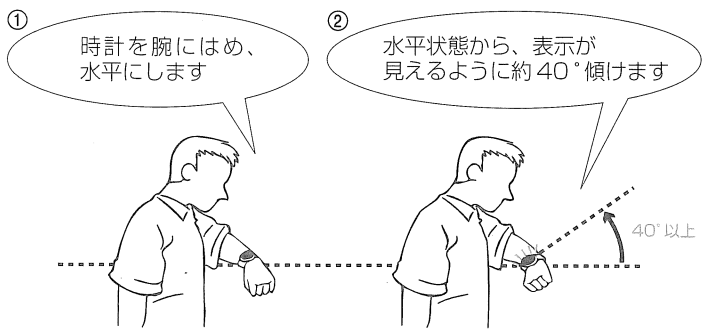
### ●時計を傾けて発光させる～自動発光（オートライト）～

オートライトは、ボタンを押さなくても文字板が発光する便利な機能です。暗い場所で時刻やストップウオッチの計測値などを見るときに大変便利です。

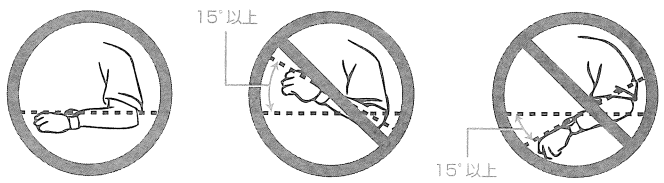
**準備** 時刻・カレンダーモードまたはストップウオッチモード（計測リセット状態）のときにⒸ ボタンを約2秒間押して、"✥"を点灯させて「オートライトON」にします。
※もう一度Ⓒ ボタンを約2秒間押すと"✥"が消え、「オートライトOFF」になります。




**文字を発光させる**




※オートライト機能を使用するときは、時計が「手首の外側」にくるようにつけてください。
※このとき、文字板の左右（3時－9時方向）の角度を±15°以内にしておいてください。15°以上傾いていると発光しにくくなります。




**＜オートライトご使用時の注意＞**

●オートライトが作動するのは、"✥"を点灯させてから**約5時間**です。それ以降は電池消耗防止のため、自動的に"✥"が消え、オートライトOFFになります。
※引き続きオートライトを作動させたいときは、再度Ⓒボタンを約2秒間押して、"✥"を点灯させてください。ただし、オートライトを頻繁に使用すると電池寿命が短くなりますのでご注意ください。
●時計を傾けたとき、文字板の発光が一瞬遅れることがありますが異常ではありません。
●文字板発光後、時計を傾けたままにしておいても、発光は約2秒間のみとなります。
●時計を「手首の内側」につけていたり、腕を振ったり、腕を上にあげたりしても発光することがあります。**オートライトを使用しないときはOFFにしておいてください。**
※時計を「手首の内側」につけるときはできるだけオートライトをOFFにしてご使用ください。
●静電気や磁気などでオートライトが動作しにくくなり、発光しないことがあります。このときはもう一度水平状態から傾けなおしてみてください。なお、それでも発光しにくいときは、腕を下からふりあげてみると、発光しやすくなります。

**＜EL発光についての注意事項＞**

●直射日光下では、発光が見えにくくなります。
●発光中に確認音が鳴るボタンを押すと、発光を中断します。ただし、確認音が鳴らないボタン（リコールモードでのⒸボタン等）を押した場合は発光を中断しません。
●発光中にアラームなどが鳴り出すと発光を中断します。
●発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

# ご使用上の注意

**防水性**
●表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの。

| | BAR無し | 5BAR | 10BAR | 20BAR |
|---|---|---|---|---|
| 洗顔、雨 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 水仕事、水泳 | × | ○ | ○ | ○ |
| ウインドサーフィン | × | × | ○ | ○ |
| スキンダイビング（素潜り） | × | × | ○ | ○ |

※BARは気圧の意味で、防水性の高さを表わします。
※専門的な潜水＝スキューバダイビング（アクアラング）でのご使用はお避けください。

●**表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの。**
防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
●防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行なわないでください。
●海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
●防水性を保つために定期的（2～3年を目安に）なパッキン交換をおすすめします。
●電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。（特殊な治具を必要とします）
●防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事、水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

**バンド**
●バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
●樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。
●樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単にふきとることができます。

**温度**
●自動車のダッシュボード等の高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり止まったりすることがあります。
●＋60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

**ショック**
●通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると故障の原因となります。

**磁気**
●家庭用電気製品（テレビなど）程度の磁気には影響ないように耐磁構造をとってありますが、強い磁気を発生する器具に近づけると一時的に遅れ・進みが生じることがあります。また、本機自体が磁気を帯びたり、強い磁気を発するものの近くで使用すると、オートライトが作動しにくくなることがあります。

**薬品類**
●水銀や化学薬品（シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類）が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

**保管**
●長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

### ■お手入れについて

**お手入れのしかた**
●時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは、吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。
●金属バンドは、時々、部分洗いすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損われることがあります。

**お手入れを怠ると**
●「サビ」
• ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。
※汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。
• 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。
●「劣化」
• 樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり、折れたりすることがあります。
●「かぶれ」
• 皮膚の弱い方やアレルギー体質の方は、かぶれたりすることがあります。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。
• 特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れするか、金属バンドのご使用をおすすめします。

### ■電池交換について

**最初の電池**
●工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。
※モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。なお電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

**消耗**
●電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
●消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

**電池交換**
●電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申しつけください。
●電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
●電池交換の際、防水検査を行ないます。（防水検査は別途有料となります）

### ■液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申しつけください。実費にて申し受けます。

### ■EL パネル（表示照明部）の交換について

表示照明用として使用しているELパネル（エレクトロルミネッセンスパネル）は、長期間使用しますと明るさが弱くなり、光が暗く見えることがあります。このようなときにはお買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申しつけください。実費にて申し受けます。